



Japan Display Inc.

VR ヘッドマウントディスプレイ
VRM-100
コンテンツ開発マニュアル

もくじ

もくじ	1
1. このドキュメントについて.....	1
2. 必要なソフトウェア.....	1
3. フレームワーク.....	2
4. Unity と SteamVR のセットアップ	2
5. Unity による簡単な VR アプリケーションの作り方	3
6. 参考情報.....	6
7. 商標・著作権について.....	6

1. このドキュメントについて

VRM-100 には OpenVR に対応したドライバを使用することができます。

Unity 上から OpenVR のドライバを使用する設定を入れると、容易に VR アプリケーションを作成することが可能です。

(OpenVR ドライバの使用のために Valve 社が提供する SteamVR のプラットフォームを使用します。)

このドキュメントでは Unity と SteamVR を使った基本的なアプリケーションの使い方を説明します。

2. 必要なソフトウェア

必要なソフトウェアは以下の通りです。

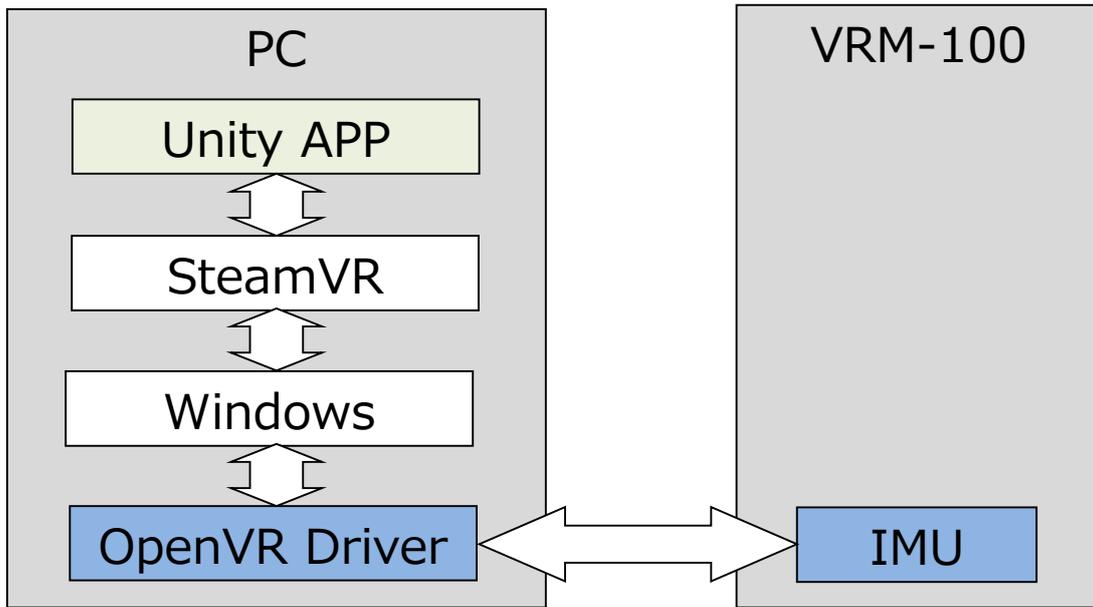
Steam

SteamVR

Unity

VRM-100 ドライバ (このファイルに OpenVR のドライバが含まれています)

3. フレームワーク



"OpenVR Driver"と"IMU"のソフトウェアから提供します。
Unity は開発者の方ご自身でご準備願います。

4. Unity と SteamVR のセットアップ

Step1: Unity をインストールして下さい

Step2: Steam と SteamVR, VRM-100 のドライバをインストールして下さい (方法はマニュアルに記載してあります)

Step3: VRM-100 に SteamVR の画像が表示された状態にして下さい

Step4: Unity を実行して下さい

5. Unity による簡単な VR アプリケーションの作り方

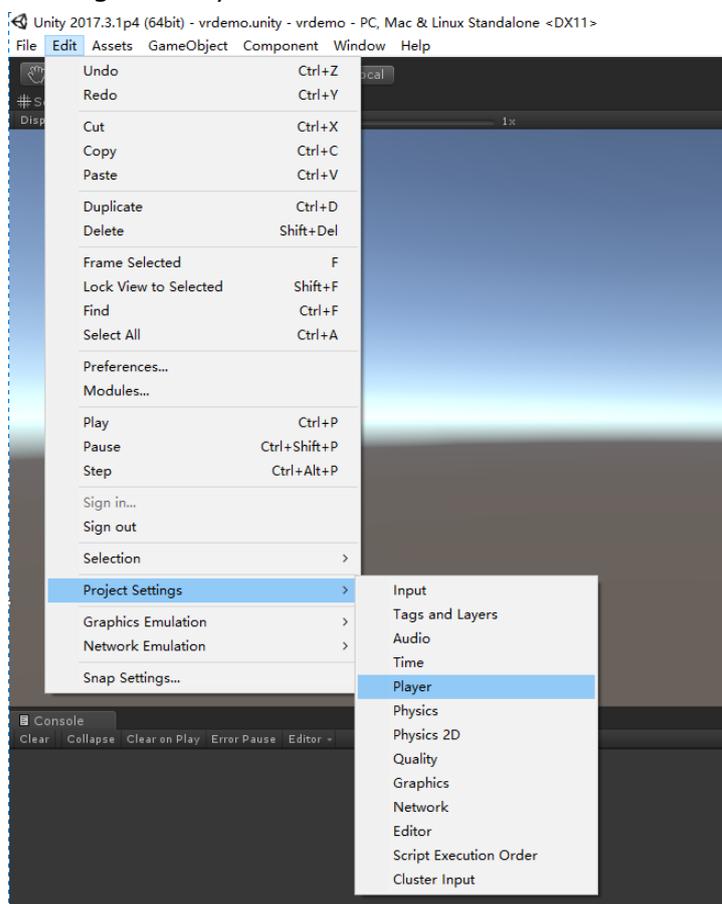
Step1: Unity で新しいプロジェクトを作って開いて下さい

Step2: OpenVR パッケージのインストール (Unity 2018.3 以降のみ)

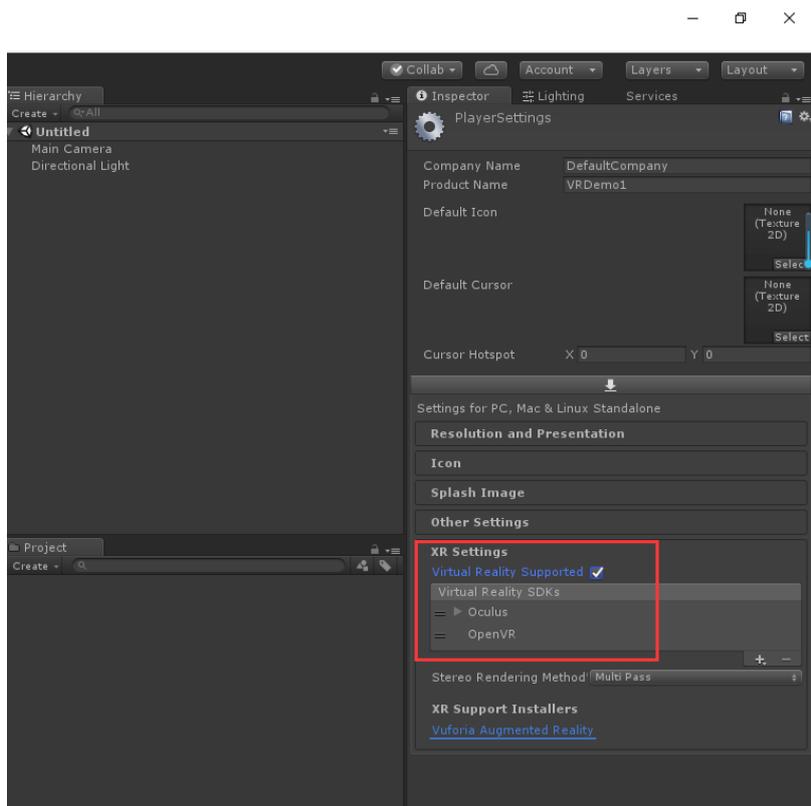
Unity 2018.3 以降をご使用の場合は、OpenVR パッケージをインストール必要があります。

メニューから Window -> Package Manager を開き、"OpenVR"を探し、"Install"をクリックして下さい。

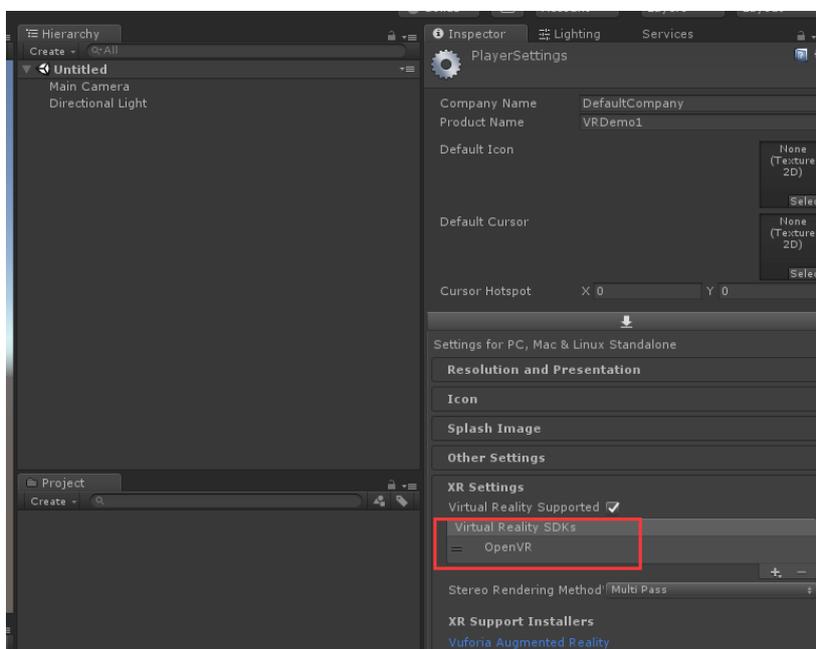
Step3: Edit -> Project Setting から Player をクリックして下さい



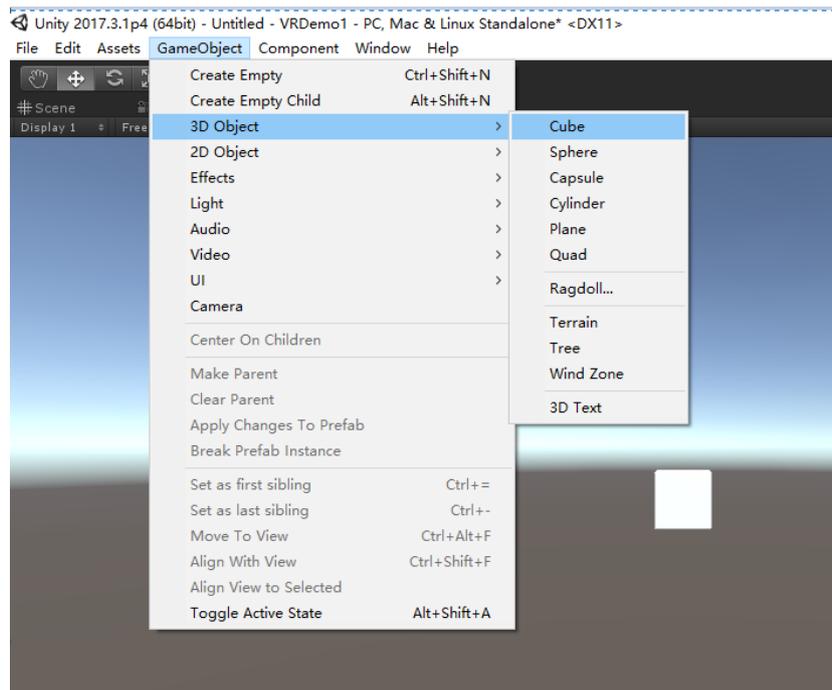
Step4: Inspector ウィンドウの"XR Settings"の中から"Virtual Reality Supported"の項目のチェックボックスをオンにして下さい



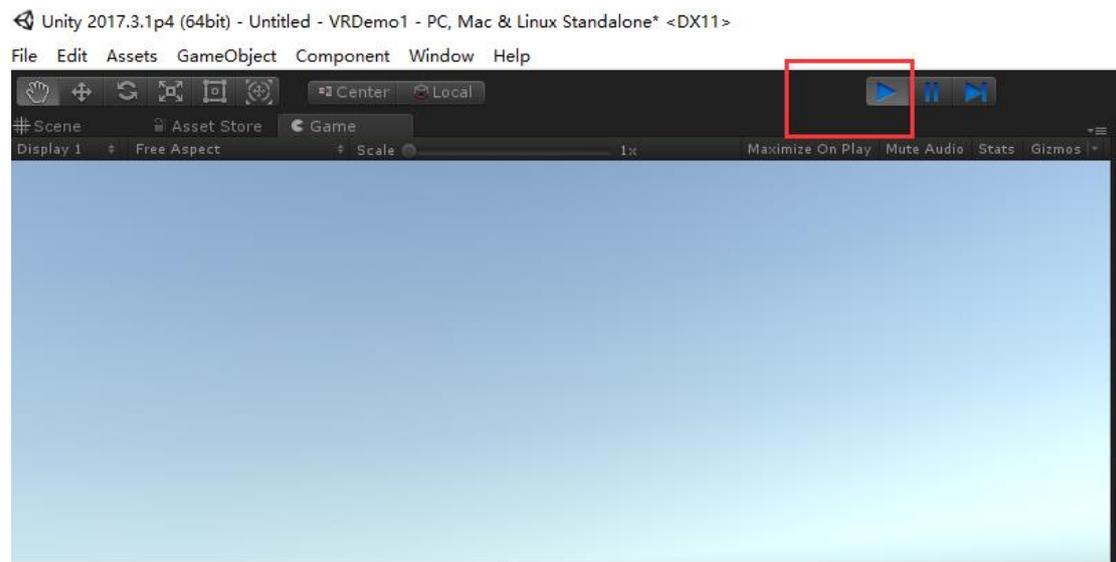
Step5: 項目中の"Oculus"を削除し、"Open VR"のみがリストアップされた状態にして下さい (リストの右下の-ボタンで削除できます)



Step6: Step4: メニューから GameObject->3D Object の Cube をクリックし、ウィンドウ上に配置して下さい



Step7: アプリケーションを実行して下さい



Step8: VRM-100 の本体を動かすことで VR 空間上のオブジェクトが連動して動くことを確認して下さい

6. 参考情報

Unity による VR アプリケーションの開発方法は以下を参照して下さい。

<https://unity3d.com/jp/learn/tutorials/topics/virtual-reality/vr-overview>

7. 商標・著作権について

Steam、SteamVR は、アメリカ合衆国および、または その他の国における Valve Corporation の商標、または登録商標です。

Unity は、アメリカ合衆国および、または その他の国における Unity Technologies の商標、または登録商標です。
その他の各製品名は、各社の商標、または登録商標です。